



DAIDO CAMPUS

No.93 2018.04



写真提供:アルバム委員会

平成30年度入学式を挙行しました

4月2日(月)、本学石井記念体育館で入学式を挙行しました。

式では、神保睦子学長が、「大学生活は、高校生までの学生生活と社会に出るまでの間の、人生で最も貴重な時間であるといえるでしょう。高校生よりも自由があり、でも大人としての責任もあります。しかし、社会に出てからでは体験できない、時間や利益に縛られない、自分の考えで有意義な生活が送れます。大学生活で勉学やスポーツ、趣味などいろいろな努力をし、経験したことはみなさんの社会に出てからの財産です。大同大学は、そのような財産を築く皆さんのために、最大限の援助を行ないます。これから、さらなる情報社会の進展にともない、社会は大きな変革の時期に入ります。また、地球規模の課題がいくつも顕在化し、グローバル化はますます進むでしょう。そのような社会の変革に対応できるように、自分自身を磨いて財産を築いて下さい。皆さんが大同大学で、貴重な実りある大学生活をおくることを

心から願っています。」とエールを送りました。

また、新入生代表として、小川紗弥さん(工学部 建築学科)が挨拶し、「先日、韓国の平昌にて、オリンピック・パラリンピックが開催されました。オリンピック・パラリンピックは四年に一度の大きな試合です。その試合に向かって、代表選手は困難や苦労があっても、四年後に向けて日々努力しています。私たちも同じだと思います。大学生活も、オリンピック・パラリンピックと同じ四年間の挑戦です。楽しいことも辛いこともありますが、努力して四年後、掴みたいと考えています。」と力強く宣誓しました。

式後は、「WELCOME TO DU」イベントを在学生たちが開き、クラブ紹介やミニゲーム、ビンゴ大会などを行いました。また、保護者の方向けに新入生父母懇談会も実施しました。

写真提供:アルバム委員会



WELCOME
TO





D.U.



田中隆太郎さん(工学研究科 修士課程)

「第8回トライボロジー 秋の学校 in 愛知」で 最優秀ポスター賞を受賞しました

2017年12月8日(金)、9日(土)に、あいち健康プラザで開催された「第8回トライボロジー秋の学校 in 愛知ー集まれ!若きトライボロジスト!ー」において、本学の学生4名がポスター発表を行い、そのうち大学院 工学研究科 修士課程 宮本潤示研究室 田中隆太郎さんが最優秀ポスター賞を受賞しました。



このイベントでは、トライボロジーに携わる若手の研究者や学生が交流を深めるため、研究成果発表・企業技術展示・基調講演が行われました。本学からは、最優秀ポスター賞を受賞した田中さんをはじめ、大学院 工学研究科 坪井涼研究室 鞠千里さん、高木雄生さん、工学部 機械工学科 坪井涼研究室 伊藤絢哉さんの4名が参加しました。

それぞれの発表内容は下記の通りです。

◆最優秀ポスター賞

大学院 工学研究科 宮本研究室 田中隆太郎さん:
工具鋼のプラズマ窒化における表面性状に関する研究

◆発表者

大学院 工学研究科 坪井研究室
鞠千里さん:

CFDを用いたピストン・シリンダーの上下死点における流体挙動に関する研究

高木雄生さん:

テクスチャ表面がEHLの表面形状変形に及ぼす影響についての数値シミュレーション

工学部 機械工学科 坪井研究室 伊藤絢哉さん:
異方性ディンプルを付与した摺動面における潤滑油の流動解析

谷口真伍さん、新井田篤さん、吉田信吾さん
(機械工学科)

「東海YFEフォーラム2017」で ポスターセッションを行いました

2017年11月24日(金)に、ウインクあいちで開催された、(公社)日本鋳造工学会東海支部若手鋳造エンジニア(YFE)懇話会が主催する、「東海YFEフォーラム2017」で前田安郭研究室 谷口真伍さん、新井田篤さん、吉田信吾さんがポスターセッションを行いました。

谷口さんが「注湯方法の違いによる鋳型充填挙動の直接観察とシミュレーション」、新井田さんが「水モデル装置による空気巻き込み定量化」、吉田さんが「生型砂のスクイーズ造型における充填シミュレーション」と題して発表しました。

田中隆太郎さん(工学研究科 修士課程)

「日本熱処理技術協会第8回中部支部講演大会」で研究発表奨励賞を受賞

3月2日(金)に、本学で開催された、「(一社)日本熱処理技術協会第8回中部支部講演大会」で、本学の学生3名が研究発表を行い、そのうち大学院 工学研究科 修士課程 宮本潤示研究室 田中隆太郎さんが研究発表奨励賞を受賞しました。

この本大会は熱処理、表面改質、熱処理に関わる学術研究はもとより、事例報告や改良および改善、提案なども発表対象であり、企業で熱処理技術に従事する技術者や研究者、官・大学および講演の研究者や大学院生など、長年熱処理に従事された方から若手の方まで幅広い年齢層の方が参加しました。

表彰は35歳以下の若手発表者を対象としており、今回受賞した研究発表奨励賞はベストプレゼンテーション賞、研究発表優秀賞(各1名)に次ぐ賞で、企業の方、他大学の先生方から高い評価を受けました。

本学から発表した学生の発表内容は以下の通りです。

◆研究発表奨励賞

大学院 工学研究科 宮本研究室 田中隆太郎さん:

工具鋼のプラズマ窒化におけるバイアス電圧が

窒化処理層の形成に与える影響

◆発表者

大学院 工学研究科 宮本研究室 小島和幸さん:

鋼の大気圧プラズマ窒化処理法における水素量が

窒化層に与える影響

工学部 機械工学科 宮本研究室 山根和也さん:

プラズマ窒化処理における正バイアス電圧に関する研究



神野翔さん(工学研究科 修士課程)

「第18回 計測自動制御学会SI部門講演会」で優秀講演賞を受賞しました

2017年12月20日(水)～22日(金)、仙台国際センターで開催された、「第18回 計測自動制御学会システムインテグレーション部門講演会」で、大学院 工学研究科 修士課程 大嶋和彦研究室 神野翔さんが優秀講演賞を受賞しました。

システムインテグレーション部門講演会は高機能化・複雑化するシステムの諸問題を解決し、更にシステムの設計論を開拓・構築するため、人間・社会・人工物が関わる様々な分野における俯瞰的システムインテグレーションをテーマとして、全国の産官学の研究者・技術者が集結して当該分野に関連する講演発表

および討論を行うものです。

神野さんは、20日(水)に行われた「無人機システム」のセッションで「ドローンの衝突回避およびダイナミック経路計画」(共著:工学部 機械システム工学科 大嶋和彦教授、橋口宏衛講師)と題して発表し、見事、優秀講演賞を受賞しました。



青木優太さん(工学研究科 修士課程)

「SICE 中部支部オープンラボ・若手研究発表会」で優秀発表賞を受賞しました

2017年11月30日

(木)に、トヨタ産業技術記念館で開催された、計測自動制御学会中部支部が主催する「SICE 中部支部オープンラボ・若手研究発表会」に、大学院 工学研究科 修士課程 高木康夫研究室 青木優太さんと学部生5人が参加し、青木さんが優秀発表賞を受賞しました。



オープンラボ・若手研究発表会はSICE 中部支部が平成15年度から、情報交換と相互理解を促進することを目的として、SICE 関係の企業や大学における研究成果を紹介しており、企業・研究室の紹介ポスター発表・展示に加え、若手研究者・技術者ならびに学生(大学院生、大学生、高専生など)による研究発表会をポスター発表形式で行っています。

青木さんは「スマートハウスの要素技術の基礎研究」および「巻き線型誘導電動機の基礎研究」の2件の研究成果を発表し、発表会当日に行われた表彰式で、青木さんが優秀発表賞を受賞しました。学部生にとっては、卒業研究で取り組んできた研究テーマの中間報告を、多くの専門家の前で初めて説明する機会となり、緊張したものの良い経験になりました。

近藤直生さん(工学研究科 修士課程)

「The 14th Asian Foundry Congress」で研究発表を行いました

2017年11月7日(火)～10日(金)に、Songdo Convensia(韓国 仁川広域市)で開催された、「The 14th Asian Foundry Congress(第14回 アジア鋳物会議(韓国)」で、大学院 工学研究科 修士課程 前田安郭研究室 近藤直生さんが研究発表を行いました。

近藤さんは「Direct Observation and Simulation of Casting Aluminum Alloy into Sand Mold with Varying Sprue Shape」を題して、研究発表を行いました。



中村陸さん(建築学科 土木・環境専攻)

11/22(水)付中日新聞に 「あいちサスティナ研究所」での活動が取り上げられました

2017.11.22(水)付 中日新聞

「かがやけ☆あいちサスティナ研究所」とは、パートナー企業・団体の環境課題に対して学生が解決策を提案する愛知県の事業です。

2017年11月22日(水)付中日新聞では、新日鐵住金名古屋製鐵所とスターバックス コーヒー ジャパンのチームが紹介され、2017年12月3日(日)に行われた成果発表会に向けて、提案を具体的にまとめる作業に取り組んでいる様子が紹介されました。

中村さんは、今回はスターバックス コーヒー ジャパンのチームリーダーを務めています。このチームでは、各店舗での社会貢献活動を発展させるために、「私たちの社会貢献活動に共感し、行動できる仲間を増やす企画の検討」を課題としました。中村さんは記事内で「企画だけでなくプログラムの実行もしたい」とコメントしています。

山下陽輝さん(建築学科 インテリアデザイン専攻)

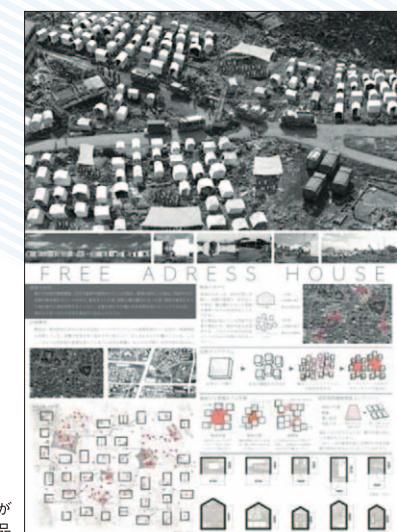
『第34回 JIA東海支部設計競技』で 銀賞を受賞しました

2017年12月2日(土)、TOTO テクニカルセンター名古屋で開催された、日本建築家協会東海支部が主催する『第34回JIA東海支部設計競技』で、武藤隆研究室の山下陽輝さんが銀賞を受賞しました。当日は、2次公開審査で賞が決定し、表彰式、作品展示、記念講演会が行われました。

「建築設計競技」は、複雑かつ不安定な社会において住む空間の多様なあり方と可能性を問うもので、今回で34回目を迎える最も伝統ある事業の一つです。第34回の課題は、次の戦争の「後」に現われる「戦後住宅」を構想する『21世紀の戦後住宅』で、建築と戦争の関係について、若い設計者に考えてもらうものとなっています。

『第34回JIA東海支部設計競技』結果発表

<http://www.jia-tokai.org/competition/topics.htm>



山下さんが
発表した作品

北川遼馬さん・山下陽輝さん
(建築学科 インテリアデザイン専攻)

『Nagoya Archi Fes 2018 中部卒業設計展』で 審査員賞を受賞しました!

3月13日(火)～15日(木)に、吹上ホールで開催された、「Nagoya Archi Fes 2018 中部卒業設計展」にて、武藤研究室 北川遼馬さん、山下陽輝さんが審査員賞を受賞しました。

今回の設計展のキャッチコピーは「見る、美せる、魅せられる」です。作品を見る審査員の方、作品を美せる出展者、作品に魅せられる来場者など、設計展における様々なベクトルを表現しています。

6人の審査員賞のうち、北川さんが前田圭介賞に、山下さんが早川克美賞に選ばれました。

Nagoya Archi Fes 2018 中部卒業設計展:

<http://nagoya-archi-fes.com/awards>



柏崎優也さん
(情報システム学科 コンピュータサイエンス専攻)

NTTデータ数理システムより 学生奨励賞の最優秀賞を 受賞しました

株式会社NTTデータ数理システム(NTTDaTa)が授賞している、2017年度 VMStudio & TMStudio 学生研究奨励賞で柏崎優也さんが最優秀賞に選ばれました。

柏崎さんは論文「POSデータを用いた牛乳販売量の需要予測モデルの検討」を発表し、受賞に至りました。受賞コメントとして、「この度は学生研究奨励賞の最優秀賞に選出していただき、誠にありがとうございます。VMStudioの簡単な操作性とわかりやすい設定方法、豊富な分析機能で効率よく研究を進めることができました。このような貴重な機会をくださったNTTデータ数理システムの皆様、日頃よりご指導くださる柴田慎一先生に心より感謝申し上げます。」と述べています。

水谷竜斗さん(情報学研究科 修士課程)

「平成29年度日本図学会中部支部秋季例会」で奨励賞を受賞しました



2017年10月9日(月)に、長野県茅野市で開催された『平成29年度日本図学会中部支部秋季例会』で大学院情報学研究科 修士課程 横山弥生研究室の水谷竜斗さんが若手の優秀な発表に送られる奨励賞を受賞しました。

日本図学会は、機械工学、情報工学、建築、美術、各種デザイン等、多様な分野の専門家が、図や形を扱う立場から、

図形の幾何学的性質や表現方法に関する研究、コンピュータグラフィックスに関する研究、図形の創造的能力や認識能力の研究とそれらの知見に基づいた教育方法に関する研究等において研鑽を重ね、その研究成果を互いに情報交換する場として設立された50年以上の歴史がある学会です。

水谷さんは『Webデザインの観点から考察するSPA(シングルページアプリケーション)の優位性と実用例』というテーマで研究発表を行い、今回の受賞に至りました。

水谷さんは受賞に際し、「今回のプレゼンでのオーディエンスは学生がおらず、中部地区の各地から集まられた大学の先生ばかりだったので大変緊張しました。賞は頂きましたが、自分で制作するWebサイトで実用例として研究成果を示していくことこそが、この研究の結論を裏付けすることになると考えているので、引き続き試行錯誤しながら頑張りたいです。」とコメントしました。

合田彩乃さん、福田充さん

(情報デザイン学科 プロダクトデザイン専攻)

「デザインパテントコンテスト」で優秀賞を受賞しました

文部科学省、特許庁、日本弁理士会、(独)工業所有権情報・研修館が主催する、「平成29年度デザインパテントコンテスト」で合田彩乃さん、福田充さんが入賞しました。

デザインパテントコンテストは、日本の次世代を担う若い高校生、高等専門学校生、大学生、専修学校生及び大学校生が、自ら考え出したデザイン(意匠)について応募し、優秀なものについては優秀賞(出願支援対象)として表彰されます。また、実際に特許庁への出願を支援することで、意匠権の取得までの手続を体験するとともに、知的財産マインドを育て、知的財産権制度の理解を促進しています。

応募総数506件の中から、合田さんの「二面スプーン」、福田さんの「Tea Style」が優秀賞を受賞し、意匠登録出願支援対象者に選ばれました。

優秀賞を受賞した2名は昨年も受賞しており、今年は自主的に応募して2年連続入賞という栄誉に輝きました。

近藤早紀さん(工学研究科 修士課程)

「第41回人間—生活環境系シンポジウム」で大会発表賞を受賞しました

2017年12月9日(土)、10日(日)に、信州大学で開催された、人間—生活環境系学会が主催する「第41回人間—生活環境系シンポジウム」で大学院 工学研究科 修士課程 光田恵研究室 近藤早紀さんが大会発表賞を受賞しました。

人間—生活環境系学会は、人間と生活環境に関連する広い分野の知識や技術を有機的に結合し、人間—生活環境系として体系化を図り、健康で快適に活動できる生活環境の実現に努め、人々の生活の質の向上に貢献することを目的として設立されており、毎年シンポジウムが開催されています。

近藤さんは10日(日)に、「芳香剤のかおりの室内拡散挙動に関する測定方法の検討」という研究テーマで発表し、35歳以下の特に優秀と認められる研究発表を行ったものに与えられる大会発表賞を見事受賞しました。



右:近藤早紀さん

バレーボール部 備一真さん

「月刊バレーボール」で注目選手として紹介されました

東海

備一真 (大同大2年)

■身長168cm／リベロ
1年生の春季リーグから4季連続でリベロ賞を獲得している。今年は「自分がチームを引っ張り、勝利に貢献する」と強い意志を持って挑んでいく。

月刊バレーボール 4月号

バレーボール専門誌「月刊バレーボール」の4月号でバレーボール部の備一真さん(情報学部 総合情報学科 経営情報専攻)が今年の注目選手として紹介されました。

4月で3年生になる備さんはリベロというポジションで、1年生の春季リーグから4季連続でリベロ賞を獲得しており、さらなる活躍が期待されています。「自分がチームを引っ張り、勝利に貢献する」と必勝を誓い、春季リーグ戦に臨みます。

大嶋和彦研究室(機械システム工学科)

「自作スピーカーコンテスト」で学生が 第一次審査通過、大嶋和彦教授が3位受賞!

2017年12月16日(土)に、音楽之友社発行の「月刊Stereo」が主催する「第8回自作スピーカーコンテスト」が行われました。大嶋研究室から学生2名と大嶋教授が応募し、4年生の磯田恆人さんと高見将成さんが第一次審査通過、大嶋教授は第3位を受賞しました。

コンテストではスピーカーユニットが指定され、それを収める箱(エンクロージャ)を自作して、その完成度を評価します。日本全国から作品が寄せられ、その音を、その技を、その形を競い合うことから「オーディオの甲子園」とも呼ばれています。年に一度ずつ回を重ね、8回目の今回は214作品もの応募がありました。

磯田さんと高見さんは、卒業研究の一環として共同で製作してコンテストに応募。併せて指導教員の大嶋教授も応募しました。両作品はめでたく第一次審査を通過し、二次審査の27作品に残りました。そしてこの中から大嶋教授の作品が見事第3位に輝きました。

磯田さんと高見さんの作品は受賞こそ叶わなかったものの、3D-CADと3Dプリンタを利用した意欲的な挑戦に対して、「最新のテクノロジーを駆使し造形的に美しく、意欲は感じさせるが音質面特に低音域獲得への配慮はもう一工夫必要。次作に期待」(石田)

また、大嶋教授の作品は非常に薄い板材を用いたコンパクトサイズのスピーカーで、「工作の精度が高く仕上げも美しい。低域の音圧が心地よく伝わってくる。低重心な音場をベースに艶っぽさを秘めた音像のしなやかな質感も好印象である。」と審査員の高評価を得ました。



3Dプリンター採用バックロードホーン・スピーカー
磯田恆人さん & 高見将成さん作
「最新のテクノロジーを駆使し
造形的に美しく、意欲は感じ
させるが音質面特に低音域獲得
への配慮はもう一工夫必要。次
作に期待」(石田)



左から: 磯田恆人さん、高見将成さん、大嶋和彦教授



月刊Stereo 2月号

篠原主幹研究室(機械システム工学科)

株式会社JSOLのLS-DYNA活用 事例として紹介されています

株式会社JSOLのLS-DYNA活用事例として、篠原研究室の有松・鳴海絞りが紹介されています。

篠原研究室が有松・鳴海絞りの伝承・保全のため、絞りの機械化・効率化の研究をし、その模様を作り出す工程の一部機械化に取り組む中でLS-DYNAを活用していることや、LS-DYNAを使うようになったきっかけ、活用している研究内容などについて、写真とともに篠原准教授のコメントや解説が掲載されています。



株式会社JSOLホームページ内【活用事例】

伝統工芸「有松・鳴海絞り」における

布のしわ予測解析

<https://cae.jsol.co.jp/product/struct/lstdyna/cases/caseU01/#breadcrumb>



長谷川和基さん(工学研究科 修士課程)、山田靖教授(電気電子工学科)

KAMOME-PJの成果報告会で 発表しました

2017年11月9日(木)、横浜国立大学で開催された、よこはま高度実装技術コンソーシアム(YJC)が主催する、「KAMOME (Kanagawa Advanced MModule for Material Evaluation) プロジェクト」の報告会で大学院 工学研究科 電気・電子工学専攻 山田研究室 長谷川和基さんと山田教授が発表を行いました。KAMOMEプロジェクトは、自動車の電動化などへの応用を目指した、SiC等大電流パワーモジュール用実装材料の評価プロジェクトで、約100名の参加がありました。

午前の部では、ポスターによる企業の展示と大学の研究報告があり、長谷川さんが「無加圧窒素雰囲気による銅ナノ粒子接合の特性評価」、山田教授が「Young's modulus of sintered Cu joint and its influence on thermal stress」の発表を行いました。午後の部では、講演と各WG報告などがあり、山田教授が、「接合材料WG」の報告を行いました。

建築学科 土木・環境専攻

白水キャンパスで作品展示を行いました

1月29日(月)～2月2日(金)、白水キャンパスの4号館4102教室にて、土木・環境専攻の1～3年生が後期の授業で制作した作品を展示しました。

展示したのは、1年次『ランドスケープ設計』の課題:「街路角にある公園の設計と模型」、2年次『CAD演習2』の課題:「街区公園の設計」、3年次『都市開発プラン実習』の課題:「まちづくり構想の提案」、で制作された作品です。1年次から3年次までの学びの課程を垣間見ることができます。他学科・専攻の学生にとっても興味深いものとなりました。



建築学科 かおりデザイン専攻

専門誌「AROMA RESEARCH」で紹介されました

アロマの機能性と効用の学際的専門誌である「AROMA RESEARCH」No.72(2017年11月28日発売)で、本学のかおりデザイン専攻が紹介されました。

「AROMA RESEARCH」では、香りの有用性を科学的・薬学的・医学的等の視点から掘り下げ、ヘルスケアのための新規研究開発をサポートするほか、香りの有用性をとおして活力ある香り文化、フレ

グランス・フレーバー産業等の発展を支援するため、香りの機能性と有用性に関する研究開発と応用の最新情報を提供しています。

今回の特集では「研究機関における香りにおいて研究のいま」と題し、国内34の産・官・学の研究機関が取り上げられました。その中の1つとして本学のかおりデザイン専攻が選ばれ、本専攻の学び、卒業研究を中心とした研究内容などが紹介されました。

上岡和弘研究室(情報デザイン学科 メディアデザイン専攻)

1/28(日)付日本屋根経済新聞で产学連携プロジェクトが取り上げられました

1月28日(日)付日本屋根経済新聞で上岡研究室が株式会社屋根技術研究所と共同で取り組んでいる产学連携プロジェクトについて取り上げられました。

上岡研究室は愛知ブランド企業を題材とした、リクルート用PRツールの制作に取り組んでいます。



記事では、愛知ブランド企業の認定を受けている(株)屋根技術研究所と、ものづくりや屋根施工の「ゲンバの魅力を若年層に伝える」ことをテーマに、リクルート用パンフレット作成に取り組んでいることが取り上げられました。昨年12月には上岡研究室の4年生らが「ゲンバ」入りして屋根工事を体験し、「すごく面白い」と、ものづくりの魅力を感じたと紹介されています。

1月末にはプレゼンテーションが行われ、卒業制作としてパンフを作成しました。作品は2月22日(木)から学外展示会にて公開された後、実際に使用されます。また、今後上岡研究室のHPでも公開される予定です。

上岡研究室ホームページ:

http://www.aichi-brand.jp/AQPR_UeokaLab/



1/28(日)付 日本屋根経済新聞

上岡和弘教授、メディアデザイン専攻 (情報デザイン学科 メディアデザイン専攻)

区より依頼を受けた 「高齢者見守り活動啓発PV」の 完成披露発表をしました

2017年11月25日(土)、日本ガイシフォーラムにて開催された南区主催イベント「みなみシニア大集合」で、「南区地域包括ケア推進会議高齢者孤立防止対策部会(つながろうねっと)」より上岡教授が依頼を受け、メディアデザイン専攻の学生とともに制作した「高齢者見守り活動啓発プロモーションビデオ(PV)」の完成披露の発表がありました。

「南区地域包括ケア推進会議高齢者孤立防止対策部会(つながろうねっと)」は、名古屋市が各区に設置した高齢者支援組織のひとつで、以前も、上岡教授とメディアデザイン専攻の学生が「南区いきいきMAP」を作成し、2017年5月に完成了。今回は「高齢者見守り活動啓発PV」の作成を依頼され、制作しました。

PV制作に参加した学生は、メディアデザイン専攻 荒川ゆうさん、大杉伊織さん、林憲太朗さん、松井翔也さん、鈴木翔悟さん、青山大樹さん、平田優哉さんです。企画段階から参加出来ることで、プロの仕事の仕方を間近に体験することができました。

今回の完成披露は、「南区いきいきMAP」とともに行われました。



関連記事:

区より依頼を受け「高齢者見守り活動啓発PV」を 製作しています

(上岡和弘教授、メディアデザイン専攻)

https://www.daido-news.jp/daido_news/teacher/pv.html



区より依頼を受け「南区いきいきMAP」を 作成しました(上岡研究室)

http://www.daido-news.jp/daido_news/teacher/post-11.html

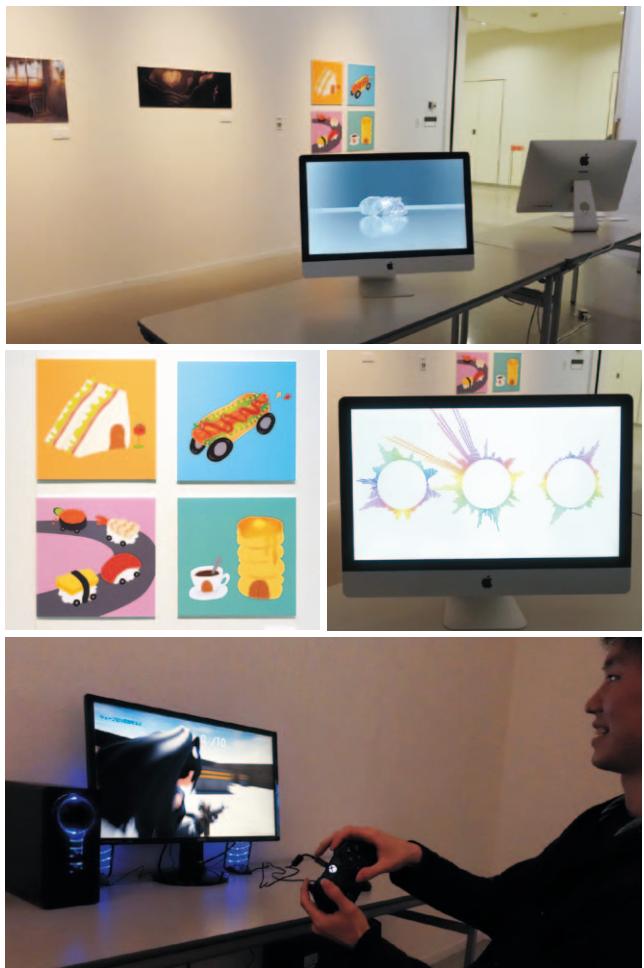


原田昌明研究室(情報デザイン学科 メディアデザイン専攻)

市民ギャラリー矢田で 作品展示会を開催しました

3月20日(火)～25日(日)まで、市民ギャラリー矢田で原田研究室の作品展示会を開催しました。

原田研究室の3年生が企画・運営し、平面のグラフィックデザインから、ゲームや映像など、今回の展示用に制作した様々な新作を展示しました。



情報デザイン学科 メディアデザイン専攻

あま市動画制作プロジェクトで「#あま市いいこと」と題して動画を制作しました

1月27日(土)、28日(日)の二日間、あま市の七宝焼アートビレッジにて、あま市の広報課、同朋大学、大同大学の共同プロジェクトとして「#あま市いいこと」と題した動画制作が行われました。

動画「#あま市いいこと」は、あま市の魅力をPRするため、市公式インスタグラムで展開している、市民+行政によるあま市の魅力発信プロジェクト「#(ハッシュタグ) あま市いいこと」の動画版で、今回4本のCMが制作されました。



原田昌明研究室(情報デザイン学科 メディアデザイン専攻)

「東京国際プロジェクト マッピングアワード vol.2」にて、 作品を発表しました

2017年12月16日(土)、東京ビッグサイト会議棟前広場にて開催された、「東京国際プロジェクトマッピングアワード vol.2」にて、本学の原田研究室がプロジェクトマッピングの発表を行いました。

本イベントは、世界で通用する若手映像クリエイターの登竜門を作ることにより、将来のコンテンツ産業の中核となる人材の育成を実現すると同時に、プロジェクトマッピングというCG映像コンテンツ技術の高度化と普及を促進し、その取り組みを世界に発信することにより、日本発のコンテンツに対する興味・関心を高める機会の創出をすることを目的としています。

たくさんの応募の中、6月にある書類審査を通ったチームのみ製作し、東京ビッグサイト会議棟前広場で行われる最終審査でプロジェクトマッピングを発表することができます。最終審査当日は6500人以上の観客が訪れました。

原田研究室は、「Harada:Lab」というチーム名で、林祐太郎さん、青木優京さん、坂雄太さん、山本謙友さんの他、名古屋音楽大学のアムセチュントニーさん、トライデントコンピュータ専門学校 土屋みなみさんが参加し、高い技術で観客を魅了しました。

発表された動画「Memory」

(東京国際プロジェクトマッピングアワード公式YouTube)
<https://www.youtube.com/watch?v=EiKzWXqAdOM>



あま市のいいことを見つけて、取材して、動画の完成までをたった二日間で行うというタイトなスケジュールのなか、学生たちは市民の方たちと一緒に企画を練り取材して、撮影、編集までの仕上げをやりきりました。

年代を超え、そして今回が初顔合わせにも関わらず、学生たちも積極的に市民の方たちと意見交換をして、あま市のために良い作品を作ろうと努力しました。本学からは2チームがそれぞれひとつずつの動画を制作し、この作品はあま市のホームページとYouTubeにて公開されています。ぜひご覧ください。

あま市公式ウェブサイト

<http://www.city.ama.aichi.jp/about/6275/007560.html>



YouTube あま市公式チャンネル

<https://www.youtube.com/user/amaaichi>
※大同大生は1と3の動画を制作しました。



神保睦子学長

「ワークライフバランスセミナー」で講師を務めました

3月19日(月)、名古屋工業大学で開催された、ワークライフバランスセミナー「女性と家事・育児と仕事」で、神保学長が講師を務めました。

本セミナーでは、平成29年4月に理工系大学では極めて稀な女性学長に就任した神保学長を招き、仕事と家庭の両立についての経験談や苦労したこと、また、本学での取り組みについて講演がなされました。また、同日に「女性技術系職員である私の未来を考えるための研修」が開催されました。



井上孝司教授(機械工学科)

日刊工業新聞に「微細加工と工具設計—現状と展望」の記事を寄稿しました

2017年11月22日(水)付の日刊工業新聞に、井上教授が「微細加工と工具設計—現状と展望」と題して寄稿した記事が掲載されました。

工具の現状と課題、技術的展望、周辺技術への期待などが書かれており、「微細加工のさらなるサイズダウン化を可能とするには、加工を支える多くの周辺技術のレベルアップが必要不可欠であり、さらなる技術革新への取り組みに期待したい。」と述べています。



前田安郭教授(機械工学科)

「第23回型技術シンポジウム」で講演を行いました

1月23日(火)に、慶應義塾大学で開催された、(社)型技術協会が主催する、「第23回型技術シンポジウム」で前田教授が講演を行いました。

「第23回型技術シンポジウム」は、「IoTを活用した金型・成形技術のスマート化」と題し、金型の設計や加工から、製品の成形に至る幅広い切り口で、シミュレーション技術やモニタリング技術の最新動向を紹介し、総合討論では、「金型・成形技術のスマート化の方向性」をテーマに、工場の見える化やスマート工場の実現や製品の高付加価値化戦略について議論しました。

前田教授は、「見えない鋳型内現象のシミュレーション」と題して、鋳造における注湯作業では、金型や砂型が、鋳型造型時には金型や樹脂型などが用いられるが、これら型内で起こっている現象は直接観察できないことから、数値シミュレーションを駆使した可視化技術が有効であると、鋳造における色々なシミュレーション方法について講演を行いました。

西脇武志教授(機械工学科)

第3回「設計・製造技術の向上に向けた高精度CAEのための先端実験技術研究会」で講演を行いました

2月23日(金)に、本学で開催された、(公財)科学技術交流財団が主催する、第3回「設計・製造技術の向上に向けた高精度CAEのための先端実験技術研究会」で西脇教授が講演を行いました。

第3回目になる、「設計・製造技術の向上に向けた高精度CAEのための先端実験技術研究会」は、「塑性加工」をテーマにしており、高精度シミュレーションに必要な実験技術の情報を共有するとともに、複雑な応力状態を考慮した材料モデルや簡便法の提案に向けた方策について議論する研究会です。

西脇教授は、「プレス成形用材料のキャリブレーション実験」と題して講演を行い、西脇研究室の見学も行われました。

宮本潤示講師(機械工学科)

日本熱処理技術協会中部支部開催の講習会「金属熱処理の基礎」で講師を担当しました

2017年12月7日(木)、8日(金)に、日本熱処理技術協会中部支部が開催する講習会「金属熱処理の基礎」が開催され、第2章「鋼材の諸特性と熱処理」の講師を宮本講師が担当しました。

本講習会は毎年日本熱処理技術協会中部支部が開催しているもので、若手の技術者を対象とし、金属熱処理における基礎知識の習得に重点をおいて解説しています。また、金属熱処理技能士受験対策としても有用な講習会となっており、(社)日本熱処理技術協会編著「熱処理ガイドブック」大河出版に沿って行われています。宮本講師は、第2章「鋼材と熱処理」を担当し、鋼材の物理的性質、強さとじん性、疲労強度、耐摩耗性、耐食性などの基礎的な知識と熱処理との関係の解説を行いました。

堀尾吉巳教授(電気電子工学科)

「日本表面科学会中部支部研究会」で開会のあいさつを担当しました

2017年11月24日(金)に、静岡大学電子工学研究所で開催された、日本表面科学会中部支部研究会が主催する『革新的機能性材料の開発と先端顕微計測技術』で堀尾教授が開会のあいさつを担当しました。

日本表面科学会中部支部部長でもある堀尾教授のあいさつで開会された日本表面科学会中部支部研究会は、「熱電材料に最適な電子構造・結晶構造と高性能熱電材料の開発」竹内恒博先生(豊田工业大学)、「乾式CNT紡績による配列CNTアセンブリと応用」井上翼先生(静岡大学)、「デバイス/材料の物性の解明に迫る電子顕微鏡技術」杉山直之先生(東レリサーチセンター)、「高速イオン伝導顕微鏡による液中ナノイメージング技術とその応用」渡邊信嗣先生(金沢大学)の内容で講演が行われ、盛況な議論がなされました。

篠原主勲准教授(機械システム工学科)

「LS-DYNA & JSTAMPフォーラム2017」で講演を行いました

2017年11月1日(水)、株式会社JSOLが主催する「LS-DYNA & JSTAMPフォーラム 2017」が東京コンファレンスセンター・品川で開催され、「有松・鳴海絞りロボットの布挙動解析」で篠原准教授が講師を務めました。このフォーラムは、有限要素法ベースCAEソフトウェアLS-DYNAのユーザー会議となります。主に産業界での自動車開発(CFRP部材接合部解析、ホットプレス加工解析、車体最適設計、車体衝突時人体解析など)の適用事例を中心に、活発な議論が行われました。



ユーザー会では、西堀賢司名誉教授が開発した有松・鳴海絞りロボットによる絞り技法を講演しました。従来以上に、布の絞り部を効果的に括ることが可能な樹脂キャップの形状最適化を目指し、布の挙動を再現する有限要素モデリング手法の開発について解説を行いました。

西堀賢司名誉教授(機械システム工学科)

インドネシアのダルマ・プルサダ大学で特別講義をしました

2017年10月31日(火)、11月1日(水)に、インドネシアの首都ジャカルタのダルマ・プルサダ(Darma Persada)大学において、西堀名誉教授が「自動化(Automation)概論」の特別講義をしました。

これは財団法人 海外産業人材育成協会からの依頼によるもので、産業工学科他約90名の学生に対し、90分の講義が6回行われました。自動化事例として現在も機械システム工学科 篠原主勲研究室と共同研究中の「有松・鳴海絞りロボット」を紹介し、インドネシアにも「バディック」と呼ばれる伝統的なろうけつ染めがあることから、興味をもたれました。また、からくりによる自動化では「空中ブランコロボット」の紹介をしました。

ダルマ・プルサダ大学はプルサダ(元日本留学生協会)を中心となり、日本での経験を母国に生かそうと1986年に設立された



私立大学です。現在の学生数は約4,700人、全学で日本語が履修科目となっています。

講義終了後には学生全員から握手されるほど、たいへん好評でした。

山田靖教授(電気電子工学科)

(株)ジャパンマーケティングサーベイ主催のセミナーで講師を務めました

2月5日(月)、東京都中央区で開催された、(株)ジャパンマーケティングサーベイ主催のセミナー「パワーモジュール組み立て(封止・接合)技術と高熱伝導化」で山田教授が講師を務めました。

このセミナーでは、パワーモジュールの組み立てに用いる封止や接合技術に対して、高熱伝導化の視点で、技術・開発の最新動向を詳細に説明することにより、本業界に関わる方々のビジネスに役立てる目的でいます。4講演ある中で、山田教授は「高耐熱接合技術—Cuナノ粒子接合など」と題して、EV/HV技術、次世代パワー半導体、パワー半導体用接合技術について講演を行いました。

樋口恵一講師(建築学科 土木・環境専攻)

「(公社)日本都市計画学会中部支部研究発表会」にて優秀講演者賞を受賞

2017年10月20日(金)に、豊田産業文化センターで開催された、公益社団法人日本都市計画学会中部支部が主催する「2017年度(第28回)中部支部研究発表会および公開シンポジウム」において、樋口講師が優秀講演者賞を受賞しました。



左:樋口恵一講師

この研究発表会は都市計画に関する計画、デザイン、分析、調査、事業などを取り扱うもので、優秀講演者賞は40歳以下を対象に、講演が簡潔明瞭で優れたものに与えられます。講演を採点項目(論文の内容、発表内容、質疑の対応)に基づき採点し、得点の上位が優秀講演者賞の候補者として選出されました。

樋口講師は「高齢者の生きがいを支える都市づくりに向けた一考察～愛知県豊田市を事例として～」という題目で講演を行い、優秀講演者賞を受賞しました。

萩原伸幸教授(建築学科 建築専攻/インテリアデザイン専攻)

日本建築学会の講習会で講師を担当しました



12月22日(金)に、東京の建築会館ホールで開催された、日本建築学会が主催する講習会「空間構造における数値解析の基礎と利用上の留意点」で萩原教授が講師を担当しました。

この講習会は、空間構造やこれに類する構造物を構造設計する際に用いられる数値解析について、基礎理論と利用する際の留意点をまとめた「空間構造の数値解析ガイドブック」の刊行を機会に、書籍に沿って内容を説明する講習会です。

基礎編の「1章:構造解析の一般事項」、基礎編・実践編の「2章:空間骨組構造」、「3章:シェル構造」、「4章:張力構造」の4章まであり、萩原教授は「4章:張力構造」の講師を担当しました。

光田恵教授(建築学科 かおりデザイン専攻) 日経ビジネス1月15日号に インタビュー記事が掲載されました



日経ビジネス 1月15日号

日経ビジネス1月15日号に「不快なおいは関係悪化のシグナル」というタイトルで、光田教授のインタビュー記事が掲載されました。

本誌の「Special Report」では、「におい」のハラスメント、通称「スメハラ」に対して、サービス業を中心に企業も対策に動き始めたことを取り上げています。関連するインタビュー記事で光田教授が「におい」について解説。記事内で光田教授は、『「スメルハラスメント」は「欧米には存在せず、日本特有の問題」といわれています。……一人ひとりがエチケットとして他人に配慮するといった、マナーの観点からの教育も重要になります。……職場のスメハラについては人間関係がうまくいっていないシグナルととらえる見方もあります。関係修復が解決の第一歩となるかもしれません。』と語っています。

山口一教授(総合情報学科 経営情報専攻/建築学科 かおりデザイン専攻併任) 「平成29年室内環境学会学術大会」で、 口頭発表し、座長を務めました

2017年12月13日(水)、14日(木)に佐賀市文化会館で開催された、室内環境学会が主催する「平成29年室内環境学会学術大会」で、山口教授が口頭発表し、座長を務めました。

本大会には、シンポジウム、研究発表など230名ほどが参加しました。山口教授は14日(木)に行われた、研究発表の中の「汚染制御」口頭発表で、「病室における臭気と汚染リスク低減に関する研究」の演題で口頭発表し、さらに、そのセッションの後半では座長を務めました。

岡田心准教授(情報デザイン学科 プロダクトデザイン専攻) 「モノづくり商品開発支援事業特別 セミナー」でパネリストを務めました

3月12日(月)、みんなの森メディアコスモスかんがえるスタジオで開催された、(公財)岐阜県産業経済振興センター主催のモノづくり商品開発支援事業特別セミナー「デザインを活用した地域のモノづくり」で、岡田准教授がパネリストを務めました。

(公財)岐阜県産業経済振興センターでは、「新商品を開発したい」、「外部デザイナーにデザインを依頼してみたい」など、新商品開発を希望する中小企業を支援しています。

本セミナーでは、ブランドを立ち上げ、商品開発に取り組んでいる企業の代表者と、そのブランドの立ち上げや、開発に関わっているデザイナーからブランド誕生や、開発秘話について話し、デザインの活用法のヒントとなるものを探ることを目的として開催しました。そのデザイナーの一人として、岡田准教授がパネリストを務め、「印鑑から仏具、陶磁器、提灯、杓など各地の伝統産業や中小企業と共に育てる商品開発を心がけ様々な製品デザインを手掛ける。」と紹介されました。



佐藤壮一郎教授(総合情報学科 経営情報専攻) 東根市主催「タントまなべ学園」で 講師を務めました

2017年12月3日(日)～2018年3月4日(日)の間に、山形県東根市で開催された「タントまなべ学園」の思学部マインドコースで、佐藤教授が講師を担当しました。



「タントまなべ学園」は、東根市が生涯学習の場として開講しているもので、今年度で16年目となりました。思学部のゼネラルコース、マインドコース、テクノロジーコースと、ものづくり学部を設けており、大学教授や、タレントなどによる講演や、ガラスアートの体験教室などが開催されました。

2017年12月3日(日)には、合同開講式と、東国原英夫氏の講演「東国原英夫の本音トーク」が開講され、佐藤教授は2月16日(金)、マインドコースの「夢の実現に向けて! ~ハンドボール競技をメジャースポーツへ~」を担当しました。

佐藤壮一郎教授(総合情報学科 経営情報専攻)

12/24(日) NHK教育テレビ 「第69回日本ハンドボール選手権 男子・決勝」で解説を担当しました

2017年12月24日(日)14:00～、NHK教育テレビで放送された「第69回日本ハンドボール選手権 男子・決勝」で、本学男子ハンドボール部監督を務める佐藤教授が解説を担当しました。

番組では大阪市で開催されている、「第69回日本ハンドボール選手権」の男子決勝戦を生中継。日本一のタイトルをかけ、日本リーグ、学生、各ブロック予選を突破した男子24チームから勝ち上がった2チームの熱い戦いを佐藤教授が解説しました。

小木曾了非常勤講師

共同研究の成果をまとめて 博士論文を完成させ、博士(工学)の 学位授与が決定しました

本学で非常勤講師を務めている小木曾了さんが、酒井陽一教授、高山努教授(教養部化学教室)らとの共同研究の成果をまとめて博士論文を完成させました。

2017年9月本学大学院に提出された小木曾さんの論文は、審査委員会により、時間をかけて厳正にチェックされたのち、予備審査会の口頭試問、公聴会を経て、2018年3月小木曾さんへ博士(工学)の学位が授与されました。

博士論文のタイトルは、「混合原子価鉄三核フッ素置換安息香酸錯体の原子価揺動の ^{57}Fe ESR分光法による研究」です。



左:小木曾了非常勤講師 右:神保睦子学長

澤岡昭名誉学長

ヘルシーなごや60号 (平成30年春号)に対談が 掲載されました

名古屋市医師会市民健康広報誌「ヘルシーなごや」60号(平成30年春号)で澤岡名誉学長の対談が掲載されました。

「宇宙へ行きたい!」と題して掲載された対談では、澤岡名誉学長自身のことから、超高齢化社会と宇宙開発、宇宙環境を利用した医学研究、宇宙空間における身体への影響などに触れられています。最後には、澤岡名誉学長の夢について触れ、高齢者トイレと宇宙のトイレ開発のための被験者として最高齢で宇宙飛行することが述べされました。



澤岡昭名誉学長

名古屋市医師会の会報誌 「名古屋医報」に対談記事が 掲載されました



名古屋市医師会の会報誌である「名古屋医報」の1月号に澤岡名誉学長と名古屋市医師会会长の杉田洋一氏らとの新春対談記事が掲載されました。

澤岡名誉学長は対談の中で、宇宙という特殊な環境によって、人体や医療に関わる研究が大きく進歩していることを紹介しました。また、澤岡名誉学長は宇宙空間において深刻な問題の1つとされるトイレについて、不衛生かつ排泄が地上よりも難しい点を改善する研究を行い、地上における高齢者用のトイレに応用するための被験者として、宇宙に行きたいという夢を語りました。対談者の方々も大きな夢を持ち続ける澤岡名誉学長の人間的魅力に引き込まれていたようです。

酒井陽一名誉教授

日本放射化学会の英文学術雑誌に 論文を掲載しました

教養部化学教室の酒井教授が、秋田県立大学木材高等研究所の研究者との共同研究の成果として、日本放射化学会の英文学術雑誌に論文を掲載しました。

論文のタイトル、著者、掲載誌、研究内容などは以下のとおりです。
"Mössbauer Characterization of Iron in Ancient Buried Trees Excavated from the Foothills of Mt.Chokai"
Shigeru Yamauchi, Yasuji Kurimoto, Yoichi Sakai
Journal of Nuclear and Radiochemical Sciences, Vol.17, pp. 23-29 (2017)

2500年前(縄文時代)鳥海山の噴火で山体崩壊(山崩れ)が起り、スギ、ケヤキなどの巨木が倒され、埋もれ木となりました。最近の高速道路工事で出土したのですが、埋もれ木のなかには古代の森林環境などを解き明かす情報源がたくさんつまっています。この研究は、その情報を求めて、埋もれ木中の鉄の化学状態をメスバウアーフォト法で明らかにしようとするものです。酒井教授は、共同研究の中でも重要なパートであるメスバウアースペクトルの測定を、本学化学教室の装置を使って担当しました。共同研究者の秋田県立大学の山内繁教授は、酒井教授が前任校の助手をしていたときの大学院生で、以来30年を超える友人とのことであります。



ケヤキ埋もれ木の発掘現場、写真的提供：秋田県立大学、栗本康司教授

「X4デザインリレー展 卒業制作展」を開催しました

大同大学「X4デザイン専攻・リレー展」は、本学デザイン系の専攻から4専攻、建築専攻・インテリアデザイン専攻・メディアデザイン専攻・プロダクトデザイン専攻がそれぞれ専門分野の魅力を広く学外の人たちにも知ってもらいたいという思いからスタートした展覧会です。それぞれの専攻が名古屋市内で順次展覧会、発表会を行います。

2月21日(水)～26日(月)の期間に、ナディアパークで、4専攻の卒業制作展をそれぞれ開催しました。

写真提供：アルバム委員会



「小学生向け ハンドボール体験会」を卒業研究の一環として開催しました

2017年12月2日(土)、本学の石井記念体育館にて、大同キッズ主催による小学生向けのハンドボール体験会を開催しました。

大同キッズは、小学校1～6年生を対象として、ハンドボールを本学の男女ハンドボール部の学生に教えてもらいながら体験したり、トップチームの試合観戦をしたりすることができます。ハンドボールは、「走る・投げる・飛ぶ」の運動要素が詰まった、運動能力の向上に非常に適したスポーツと言えます。

今回の体験会では、卒業研究の一環として本学ハンドボール部の学生が考案したメニューを実施しました。



「知多半島生態系ネットワーク協議会フォーラム」が開催されました

1月12日(金)、本学B棟4階0410教室にて、地域環境調査研究センターが主催するフォーラム「知多半島ミライAction Day」が開催されました。

本フォーラムは毎年1月に開催されており、昨年度までは団体の活動報告をメインとしていましたが、今年度からはより分かりやすく、より飽きにくく、より有意義に“生物多様性を啓発するステージショー”をテーマにフルリニューアルされました。かつてない形式の環境フォーラムに、参加者もステージの世界に引き込まれていました。

この様子は、命をつなぐPROJECT学生実行委員会が発行している雑誌「エコレコ愛知」Vol.13でも取り上げられました。



新刊紹介



『バイオロジカルクリーンルームの設計・維持管理と作業員教育』

共著:山口一教授(総合情報学科 経営情報専攻/
建築学科 かおりデザイン専攻併任)

2月28日(水)、技術情報協会が発行する書籍『バイオロジカルクリーンルームの設計・維持管理と作業員教育』は、第1章から第8章までを65名で執筆しており、山口教授は第7章3節「バイオクリーンルームにおける微生物対策予測、次亜塩素酸水の検証を中心に」を担当しました。

執筆者:65名
発行所:技術情報協会
発刊日:2018年2月28日
A4・541ページ
ISBN:9784861046957
定価:80,000円(税別)

新任教員紹介



田中 浩司 教授
工学部 機械工学科

本年度、機械工学科に着任しました。これまで自動車系の基礎研究所で、金属材料とその高温での加工方法を研究してきました。ミクロな現象の解明や、工夫を凝らしたモノが出来上がる楽しみを、フレッシュな学生の皆さんと分かち合いたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。



榎谷 啓 准教授
工学部 機械工学科

2018年4月に工学部機械工学科に着任いたしました榎谷です。専門は設計・精密工学およびロータリーダイナミクスで、主に工作機械用高精度テーブルの開発や小型高速回転ターボマシン用の機械要素の性能向上法についての研究しております。実際に機械を設計・製作してきた経験や学んできた知識などを教育に生かしていきたいと思っております。よろしくお願い致します。



宮島 千代美 准教授
情報学部 情報システム学科
情報ネットワーク専攻

情報システム学科に着任した宮島です。多くのドライバから集めた運転データを用いて「運転行動情報処理」の研究を行っています。例えば、車載センサから得られる様々な情報を用いて、ドライバの運転の安全性を診断したり、危険な運転を検出したりする研究です。教育・研究を通じて自らも学び、学生と共に成長したいと思います。



田中 宏昌 准教授
教養部 化学教室

教養部化学教室に着任しました田中宏昌です。専門は計算化学・触媒化学で、特にハーバー・ボッシュ法にかかる新たなアンモニア合成触媒の理論開発を他大学の実験グループと展開しています。初学者にとってわかりやすく、化学に興味のもてるような講義を心掛けてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

平成29年度 学位記授与式を挙行しました

3月23日(金)、本学石井記念体育館で学位記授与式を挙行しました。

神保睦子学長は、「卒業は新たな門出です。近年、地球温暖化、金融不安、中東や東アジアの緊張など地球規模の課題がいくつも顕在化し、日本にすぐに影響を与えています。これからは日本だけでなく、世界に目を向けて広い社会に飛び出し、大学で築いた財産をもとに、自分自身を成長させて下さい。みなさんの人生はこれからです。自分の満足できる人生を送って下さい。そして、ふと立ち止まり迷うとき、大同大学を思い出し、相談に来て下さい。大同大学は、いつまでも皆さんとともにあります。健康に気をつけ、家族や友達を大切にし、最近よく耳にする「パーソナルベスト」を目指してこれから的人生を送られることを、心から願っています。」と告辞を述べました。

卒業生総代の中村佳世さん(情報学部 情報システム学科 情報ネットワーク専攻)は「四年間の大学生活は人生の中で考えると短いものとなるかもしれません、自分自身を大きく成長させたかけがえのない時間になりました。これから先、今まで以上に困難が待ち受けていると思います。しかし、どんな時も諦めず最後まで粘り強くチャレンジしていきたいと思います。」と答辞を述べました。

学位記授与式終了後には名古屋観光ホテルで卒業パーティーを行いました。

学長賞(学業)

学科・専攻	氏名	指導教員
機械工学科	河合 郁子	宮本 潤示
機械工学科	近藤 翔太	徳納 一成
総合機械工学科	宮道 保彰	吉田 昌史
総合機械工学科	澤 直人	橋口 宏衛
電気電子工学科	伊藤 唯希	加納 善明
電気電子工学科	都築 新大	高木 康夫
建築専攻	大木 宏隆	萩原 伸幸
インテリアデザイン専攻	竹内 晴香	岡本 洋輔
土木・環境専攻	重盛 浩樹	鷺見 哲也
コンピュータサイエンス専攻	山田 承瑚	朝倉 宏一
情報ネットワーク専攻	南 蒼馬	柴田 憲一

学長賞(学業)

所属	氏名	指導教員
メディアデザイン専攻	飯田 瑞季	高木 基充
プロダクトデザイン専攻	石野 要	横山 弥生
かおりデザイン専攻	畠中 梢	光田 恵

学長賞(課外活動)

所属	氏名	顧問
バレーボール部	永井 智	山田 雄太
バレーボール部	山本 大樹	山田 雄太
女子ハンドボール部	福地 成衣良	齊藤 慎太郎
男子ハンドボール部	原田 竜汰	佐藤 壮一郎
男子ハンドボール部	林田 龍哉	佐藤 壮一郎
レーシングカート部	柴原 耀介	町屋 修太郎



写真提供：アルバム委員会

学長賞(大学院)

専攻	氏名	指導教員
機械工学専攻	上村 徳秀	徳納 一成
機械工学専攻	神野 翔	大嶋 和彦
電気・電子工学専攻	山崎 涼	堀尾 吉巳
建築学専攻	高木 翼	武藤 隆
建築学専攻	中村 一稀	宇野 享
情報学専攻	手島 大仁	不破 勝彦
情報学専攻	中山 泰宏	佐藤 秀樹

人事

人事

●退任(H30.3.31)

山田 博之(大同大学大同高等学校 教頭)

●退職

[法人本部・大学]

(教育職員)(H30.3.31)

井上 孝司(工学部 機械工学科 教授)

森脇 克巳(工学部 機械工学科 教授)

佐藤 秀樹(情報学部 情報システム学科 教授)

横井 健二(情報学部 情報デザイン学科 教授)

酒井 陽一(教養部 教授)

井藤 隆志(情報学部 情報デザイン学科 教授)

渡部 裕子(情報学部 情報デザイン学科 准教授)

平 博仁(工学部 総合機械工学科 特任教員)

矢野 治久(工学部 総合機械工学科 特任教員)

稻垣 卓造(工学部 建築学科 特任教員)

國立 勉(情報学部 情報システム学科 特任教員)

田中 秀和(情報学部 情報システム学科 特任教員)

併任 情報学部 情報デザイン学科 特任教員)

水野 義雄(教養部 特任教員)

併任 情報学部 総合情報学科 特任教員)

(事務職員)(H30.3.31)

佐藤 光彦(総務部 管財室長)

鈴木 美喜男(総務部 管財室 主席部員
兼 法人本部 本部長付)

後藤 菜月(総務部 総務室)

【高校】

(教諭)(H30.3.31)

山田 博之(理科)

(事務職員)(H30.3.31)

妹尾 都(総務部 高校事務室)

●採用

[大学]

(教育職員)(H30.4.1)

田中 浩司 工学部 機械工学科教授

樋谷 啓 工学部 機械工学科准教授

宮島 千代美 情報学部 情報システム学科准教授

田中 宏昌 教養部 准教授

井上 孝司 工学部 機械工学科特任教員
(任期:H30.4.1 ~ H31.3.31)

森脇 克巳 工学部 機械工学科特任教員
(任期:H30.4.1 ~ H31.3.31)

武田 秀雄 工学部 電気電子工学科特任教員
(任期:H30.4.1 ~ H31.3.31)

佐藤 達生 工学部 建築学科特任教員
(任期:H30.4.1 ~ H31.3.31)

水澤 富作 工学部 建築学科特任教員
(任期:H30.4.1 ~ H31.3.31)

佐藤 秀樹 情報学部 情報システム学科特任教員
(任期:H30.4.1 ~ H31.3.31)

横井 健二 情報学部 情報デザイン学科特任教員
(任期:H30.4.1 ~ H31.3.31)

岩橋 尊嗣 情報学部 総合情報学科特任教員
併任 工学部 建築学科特任教員
(任期:H30.4.1 ~ H31.3.31)

酒井 陽一 教養部 特任教員
(任期:H30.4.1 ~ H31.3.31)

(事務職員)(H30.4.1)

小笠原 尚哉 大学事務部 教務室

●昇任

[法人本部・大学]

(事務職員)(H30.4.1)

龟井 正隆 総務部 管財室長(次長待遇)

都築 基 大学事務部 教務室長(課長待遇)

野島 大策 企画調整部 経理室 主任部員(課長待遇)

河村 安徳 企画調整部 入試・広報室 主任部員(課長待遇)

●異動

[法人本部・大学]

(教育職員)(H30.4.1)

大嶋 和彦 工学部 機械システム工学科教授
併任 工学部 総合機械工学科教授

尾形 和哉 工学部 機械システム工学科教授
併任 工学部 総合機械工学科教授

小里 泰章 工学部 機械システム工学科教授
併任 工学部 総合機械工学科教授

小森 和武 工学部 機械システム工学科教授
併任 工学部 総合機械工学科教授

坂倉 守昭 工学部 機械システム工学科教授
併任 工学部 総合機械工学科教授

溝口 正信 工学部 機械システム工学科教授
併任 工学部 総合機械工学科教授

石田 敏彦 工学部 機械システム工学科准教授
併任 工学部 総合機械工学科准教授

井原 稔貴 工学部 機械システム工学科准教授
併任 工学部 総合機械工学科准教授

篠原 主勲 工学部 機械システム工学科准教授
併任 工学部 総合機械工学科准教授

吉田 昌史 工学部 機械システム工学科准教授
併任 工学部 総合機械工学科准教授

橋口 宏衛 工学部 機械システム工学科講師
併任 工学部 総合機械工学科講師

光田 恵 工学部 建築学科教授
併任 情報学部 総合情報学科教授

棚村 時三 工学部 建築学科准教授
併任 情報学部 総合情報学科准教授

山口 一 情報学部 総合情報学科教授
併任 工学部 建築学科教授

松木 孝文 情報学部 総合情報学科准教授
併任 教養部准教授

(事務職員)(H30.4.1)

天池 公一 法人本部 本部長付

錦織 整 大学事務部 キャリア支援室長

高橋 昌弘 総務部 管財室 主任部員

相原 美輝 大学事務部 図書館室

信濃 和彦 大学事務部 学務室

川角 匡史 総務部 人事室

【高校】

(事務職員)(H30.4.1)

安田 英基 総務部 高校事務室

●称号授与

[大学]

(名誉教授)(H30.4.1)

井上 孝司(元工学部 機械工学科 教授)

佐藤 秀樹(元情報システム学科 教授)

酒井 陽一(元教養部 教授)